

専門部会の現状と課題

●日中活動部会

発足当時の目的である「地域の特別支援学校卒業生の行き先がない」という課題は、その実態調査を行い一通り達成することができた。その他の現在の活動は事業所施設長会議、管理者向け研修、現場職員向け研修であり、今後は基幹相談支援センター等が実施する研修に参加することでその役割を果せると考える。

●相談支援部会

発足当時の目的である「相談支援の質の向上を図る」ため、毎回、事例検討を行っている。部会の中で、計画相談をどう進めるのか、相談支援専門員をどう増やすかなど話し合いはできないと考える。そこで、委託相談支援事業所、基幹相談支援センター、指定特定相談支援事業所、指定一般相談支援事業所で構成する部会を新設。計画相談の効率的な体制について情報共有を図るとともに、それぞれの機関が顔の見える関係づくりの構築が必要であると考えます。

●すまいの部会

発足当時の目的である「制度に関係なくさまざまな住まいの方法を検討し、障がい者の住まいの場を広げる」ため、啓発用教材として、市民向けのDVDを完成させた。今後は、さまざまな住まい方についての情報収集を行い、広く周知啓発していくことが必要であると考えます。

再編のポイント

① 現在の部会・連絡会で抽出した課題に対し、その課題解決に向けた再編を行う。

② 第3次春日井市障がい者総合福祉計画の重点課題・成果目標を達成するために、地域自立支援協議会が取り組むべきことを考慮する。